

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要		事業開始年度		昭和56年～		根拠法令・例規等	備前市市民センター設置条例 備前市市民センター設置条例施行規則
総合計画	大項目	基本目標	03	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	基本施策	02	生きがいのあるまちづくり			
	小項目	施策	04	公民館			
事務事業名		01	市民センター管理運営事業				
				問	担当課(室)	中央公民館	
				合	職・氏名	館長補佐 山口晋作	
				先	電話	64-1133	
				このシート作成に要した時間		5.0 時間	

事業の目的		事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい	
対象(誰・何に対して)	公民館活動等のグループ活動団体・定期講座の参加者・文化協会や貸館で利用する会社、個人、それに各種団体等		
目的(何のために)	市民の生活、文化及び教養の総合的向上発展のための場所と機会の提供を行う。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたのか)	文化及び教養の総合的向上発展のため、利用者の増加を目指す。		

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	市民センター管理運営事業	中央公民館、図書館、働く婦人の家、視聴覚ライブラリー、ホールの複合施設を一括管理運営	
	県冷凍設備保安協会会費	市民センターの空調が高圧ガス取締法による冷凍設備を備えているため協会を通じ検査を実施	
	公立文化施設協議会会費	公立文化施設が共通の問題を研究し、地方文化の向上を目的とした協議会	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費		27,761	26,394	37,891
	必要人員(人件費)	千円	2.12人	1.54人	1.58人
	事業費計		43,179	35,892	46,784
財源	国県支出金				
	受益者負担		3,377	3,306	2,530
	繰入金	千円			
	その他( )				
	一般財源		39,802	32,586	44,254
	受益者負担比率	%	7.8%	9.2%	5.4%
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	説明	市民センターの年間利用者数			
	結果指標量	事業	54,994	57,244	52,544
	対前年比	%	-	104.1%	91.8%
	活動コスト	円	27,761,000	26,394,000	37,891,000
	単位当たりコスト		505	461	721

事業の成果		年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
市民センター利用人数	成果指標名	目標値(A)	60000	60000	60000	60000
		実績値(B)	60416	54994	52544	到達目標値
		達成率(B/A)	100.69%	91.66%	87.57%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明						
貸館やグループ活動などで利用した人数						

事務事業の評価		事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> <b>B</b>
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> <b>C</b>
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> <b>C</b>

進行年度(H22年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明		施設管理をH22年度から市民センター、市民会館、吉永地域公民館を同一業者により一括管理を行って市民センターに関しては、週4日管理から2日に変更したため施設管理委託が減額となった。							

総合評価		評価区分 <A-E> <b>C</b>	
管理について、市民センターは建設して30年近く経ち老朽化が進んでいて、平成21年度は国の景気対策に係る交付金を活用して大規模改修工事を行った。しかし、今後も施設設備の更新また修繕の必要に迫られる。大規模な改修は中期財政計画に基づき整備を実施する。			

平成23年度の方向性及び取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標		著しい人口減少の中、備前市内に備前市市民センターと日生市民会館の類似施設があるのは非効率である。将来的にホール運営については、市民センターへ集約を検討する余地がある。ハード面では施設の老朽化が進み補修工事と設備の更新が必要で計画的な整備を実施していく。							

留意事項  
事業の目的やその効性の値評価指標を達成する結果指標

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい